

第5部 地域への広がり

第1章 サークル活動

1. おなべの会

(1) 会の歩み

1980年度の青年学級成人班の活動で調理を中心に行ってきたメンバーからの「青年学級以外でも調理をしたい」「調理を続けたい」という思いから1981年にはじまった料理サークルで、月一回のペースで青年学級のいない土、日、祝日に、調理実習室で活動しています。

(2) 活動の流れ

まずロビーに集まり、受付で利用料（午前中は1780円、午後2030円）を支払い、鍵を受取り調理実習室に向かいます。部屋に入るとまず、メンバーの一人が会費300円を集め、ホワイトボードにその日のメニュー、必要な食材や調味料をみんなで確認しながら書き出していきます。メンバーの一人がボードを見ながら手帳にメモを取ります。

次に買い物に行く人と残って食器や調理用具の準備やご飯を炊く人に分かれます。

買い物は、公民館隣のデパート地下のスーパーへ、10時の開店にあわせて出かけ、店では、必要なものをメモした青年が買ったものを一つひとつ丹念にチェックしていきます。レジで会計を済ませると、手分けして食材を運びます。

調理実習室に戻るとまず食材を、洗う、切る、を手分けして行っていきます。ごはんが炊き上がるまでの間や作業が一段落した際には、再びホワイトボードに向かって、今後の活動で作りたいものを出し合います。メニューを提案した人は、なぜこのメニューを作りたいかを説明し、最終的なメニューの決定は挙手による多数決で行っています。



(3) 2020年度の活動

- 20年3月29日 日曜日 公民館閉館で中止。
- 4月 同 中止。
- 5月 同 中止
- 6月 同 公民館開館するも様子見のため中止。
- 7月18日 土曜日 10:00～14:00 再開。当初3月に予定していたとりなべを冷やし中華に変更して実施。
- 8月 例年参加していたひかり療育園の納涼まつりは中止。
- 9月5日 土曜日 10:00～14:00 ハヤシライス
- 10月24日 土曜日 10:00～14:00 中華丼（例年模擬店で参加の生涯学習センター祭りがウェブによる実施となったため、通常活動）

11月14日 土曜 10:00～14:00 クリームシチュー

12月26日 土曜 10:00～14:00 年越しそば（鴨と半熟卵入り）

1月16日 土曜 9:30～12:30 海鮮ちらし丼(カニかま、しらす、マグロぶつ、アボガド、小葱)わかめ味噌汁 緊急事態宣言中のためメンバースタッフとも欠席多し。スタッフ2名確保できたので実施。

2月20日 土曜 10:00～14:00 ギョーザ お味噌汁

3月20日 土曜祝日 10:00～14:00 親子丼、お味噌汁、ポテトサラダ

4月17日 土曜 10:00～14:00 パスタ（ミートソース）と温野菜

5月8日 土曜 10:00～14:00 公民館休館のため中止

6月5日 土曜 10:00～14:00 お好み焼きとフルーツサラダ

(4) メンバーの入れ替わり

メンバーの構成については、「青年学級」か「とびたつ会」に20年以上参加している人が中心ですが、最近青年学級に入った人や入級が抽選で外れた人、その他の人でロコミ、公民館からの情報などにより新たなメンバーが加わっています。

一方、グループホームでの生活を始めるメンバーも増え、そこでの行事や人とのつながりができることから、おなべの会を卒業していく場合もあります。

40年近くほとんど休まずに参加していたメンバーが、一昨年11月から腰を痛めて入院。その後転院、高齢者施設入所となり長期に來られなくなっています。

ほかにも持病のてんかん発作が歩行中にも出るようになり、包丁を使う調理作業でも危険があるとの判断から長期に休んでいるメンバーもいます。

スタッフでは、青年学級元担当者が4名のほかロコミで3名、また、2019年から新たに加わった女性メンバーの母親も援助スタッフとして加わっています。2020年からは、青年学級に現在携わっているスタッフも2名参加しています。

(5) 活動の経費の確保

メンバーが参加しやすいよう40年前のサークル発当初より参加費（材料費）300円を維持してきました。

2004年からは活動日前に案内はがきをメンバーに、2018年からはスタッフにも送っています。以前のように電話連絡や、活動日に次の予定を確認するだけでは忘れてしまう場合もあり、案内はがきを送ることで常に予定が確認でき、その日の活動に見通しを持って参加できるようになっています。その一方で、はがき代が年間1万5千円ほ

どかかり、スタッフやメンバーからカンパの協力をいただいています。

9年前からは公民館施設有料化となり、さらにその後の値上げもあり、半日の活動で約 2000 円（1日の場合は約 4000 円）の施設利用料がかかっています。

そんななかで、2018 年度から町田市社会福祉協議会より歳末たすけあい地域福祉ボランティア活動助成金を受けることになりました。そのため、材料費以外の経費は最終的に助成金でまかなうことができ、スタッフの経済的負担も少なくすることができています。

（6）会場の確保と日程

以前は活動日を日曜日に固定し、場所の確保がなかなかできないことから、せりがや会館、市民フォーラムや忠生市民センターの調理室を活動場所とした時もありました。

しかし、活動場所を変えると、実質来られなくなってしまふメンバーもいることから、公民館の調理実習室が確保できる日を活動日とし、2020 年度はそのためもあってすべて土曜日での実施となっています。

午前中みの活動では、12 時 30 分までに退出しなければならず、調理活動が押してしまうことから、できるだけ午前、午後と会場が押さえられる日に実施しています。その場合施設利用料が 4000 円近くなりますが、この点、社協からの助成金が充てられることが活動の大きな助けになっています。

会場の確保は、施設予約システムの抽選への参加という形で行っています。しかし、競争率とくじ運に左右されることから、スタッフが手薄の日には確保できないなど、相変わらず悩みは尽きない状況です。

（7）新型コロナへの対応

新型コロナウイルス感染拡大により昨年 3 月から 5 月まで部屋の貸し出しが中止され、6 月についても自主的にお休みしました。このように長期の休会は初めての経験でした。7 月にはおそるおそる再開、以後今年の 5 月の公民館休館で中止しましたが、ほかは継続実施できています。

基本的考え方、

障がいを持つ人にとっての大切な交流と社会参加の場、調理体験のできる場です。そうした大切な活動の場の持つ意味を再確認させられています。

一方で、活動内容である室内での調理と食事は、感染リスクが少ないとは言えません。

そこで、普段の会場である公民館が確保できない場合は、お休みとしますが、確保できれば、家

庭での検温のよびかけ、会場での手洗い、消毒、マスク着用の徹底、食事中おしゃべりしないなどの感染対策に留意しつつ実施を目指すこととしています。

参加については

メンバーは、本人、家族、寮の考え方に基いてそれぞれで判断してもらい、スタッフは、感染や発症リスクの高い高齢者が多いので、無理しないでもらうとともに安全な実施のために、複数人数の確保を図っています。

実際には

感染者数や宣言の発出の有無によりスタッフ、メンバーともに実際の参加者数が増減します。また、新型コロナ禍で長期に休んでいる方もいます。そのため全体に出席者が減っており、例年 17~8 人で行っているところ、12~3 人で実施することが多くなっています。

2. とびたつ会

とびたつ会は、2004 年にはじまった本人活動の会です。当時青年学級は 180 人を超える人数と担当者の不足で青年学級を希望する若い人が入れない状況でした。また、各地では本人活動が活発になってきていました。そこで、本人活動の会を町田でもつくって、青年学級を卒業することで新しい若い人たちに青年学級を経験してもらおうと考えました。最初は 8 人でスタートしました。

（1）参加者

2020 年度の活動メンバーは 30 人でした。女性 10 人、男性 20 人。青年学級を経験した人 16 人、とびたつ会の直接入った人 9 人。車イスを利用する人が 8 人。ヘルパーさんと一緒に参加する人が 5 人でした。

（2）活動日と活動場所。

毎月第 2、第 4 日曜日 午前 10 時~16 時。会場はこれまで主にコメット会館 5 階ホールを有料で借用しましたが、防音工事にために使用できなくなり、公民館など公共施設を利用しました。コロナ禍の影響か、比較的確実に予約することができました。

（3）運営の体制

活動にあたっては、毎週木曜日 18 時から 21 時に公民館の一室で運営会議を開いて準備をしています。

本人活動ですが、支援者も 10 人ほど参加して活動を支援しています。

（4）2020 年度の主な活動

コロナ禍のため、4 月に緊急事態宣言が発出されると公共施設が使えなくなり、6 月上旬まで活動を中止せざるをえませんでした。6 月下旬から



再開しましたが、感染予防のため、参加する人は激減しました。

1月の2回目の緊急事態宣言以後は、公共施設は使えましたが、人数が10人に達しないようになりました。そこで、事前の聞き取りで、10人に達しない場合は中止として、それでも集まりたい人で、「やっぱりあつまりたい人の会」として、予約してあった部屋を、参加者で部屋代を出し合っ借りて、活動を継続しました。以下特徴的な取り組みを記します。

①とびたつ会紹介ビデオづくり (7/12)

コロナ禍で大勢で集まることも、外出することも、他団体との交流も一切できなくなってしまいました。ちまたでは、パソコンを使ったりリモートでの交流が盛んにおこなわれるようになりました。それを意識して、とびたつ会の紹介ビデオをつくることに挑戦してみました。

②学習会「永野むつみさんのお話」(7/26)

初代青年学級「担当者」で、人形劇団「ひばぼたあむ」主宰の永野むつみさんを講師に「表現すること」をテーマに学習会を実施しました。学習会の中では絵本「おおきなかぶ」を読みました。この絵本の材料は「おじいさん」と「かぶ」な話。目的は「かぶを抜く」こと。テーマは「みんなで力をあわせることはステキなこと」。思想は「人生はうんとこしょどっこいしょだ」「人生はね、急がなくていいんだよ。うんとこどっこいしょをたのしもうぜ」という趣旨のお話でした。

③うたづくり

永野むつみさんがコロナ禍で「自粛」が言われたときに書いた詩「あたりまえのうた」「ぼくときみのあたりまえと」に、曲をつけて、歌をつくりました。

④センターまつりのための動画撮影

(10/11)

生涯学習センターまつりが初めてオンライン開催ということになり、町田市ホームページから見る約5分間の動画を作成しました。歌は「あたりまえのうた」と「わたしぬきにきめないで」でした。

⑤わかそよ準備会と実行委員会

とびたつ会の時間を利用して、10月11日に準備会を開き実行委員会の進め方について意見交換し(22人)、10月25日には実行委員会を開催しテーマについて話し合いました。(38人)以後の実行委員会は、公民館学級の中で開催しました。

⑥望年会

年末恒例の望年会は、飲食無しで、10月14日に亡くなった松崎匡さんを偲んで、サンシ・モンさんをゲストに歌をうたうことを中心におこないました。

⑦性教協リモート学習会

2月28日には、「“人間と性”教育研究協議会～性教育実践はじめの一歩一緒に学び合い、語り合い、知ることからはじめよう～」に8人で参加しました。まず、それぞれの団体が10分ずつ発表しました。とびたつ会は生涯学習センターまつりの映像を映したあと、自己紹介しました。その後、モアねりまの皆さんの動画「こまったこと」(セクハラ、パワハラ、スキンシップに関する動画を見た後、みんなで意見交換しました。

⑧町田市障がい者計画について

町田市障がい福祉課からの依頼で、「町田市障がい者計画(2021～2026)わかりやすい版」について、意見を求められたので、青年学級のメンバーも含め、読んで意見を伝えました。

(5)活動を振り返って

2020年度の活動は、前年の多くの交流の活動から一転して、コロナ禍により、少人数による閉じた活動になりました。そのような中でも、動画の撮影と発信、リモート会議などを通じて、なんとか活動をつないでいきました。ことに2021年1月以降の「やっぱりあつまりたい人の会」については、記録として記しておきたいと思います。

(文責 松田泰幸)

3. スケッチ・ルーム

(1)会の歩み

2012年「好きな絵を描く場を探している」という親の声から始まったこの日も9年目になりました。会員も青年と高齢者で、絵を描きたいという思いを共有した集団ができあがって来たところでした。

(2)コロナ禍での活動

しかし、コロナ禍のため公共施設の閉鎖により、活動は7月から3月まで18回になりました。HHさんは他県で暮らしているので町田に来ることができず、HJさん親子もコロナの心配から参加できませんでした。SHさんは8回の参加でした。会としては延102人の参加で1回に5人くらいの出席でした。

大きな部屋を借りドアと窓の開放、マスク着用などを心がけました。

(3)会の運営

大きな部屋を借りられたのもまちだい社会福祉協議会のボランティア活動助成金をいただけただからです。その他、場所代として1回100円徴収しています。

(4)展示

①生涯学習センターまつりオンライン発表

期間10月30日～3月31日

HHさんに連絡すると15枚程の作品を送って

きました。また、パソコンやスマホで展示の作品を知り合いに見せたということです。

②銀座のギャラリー

期間 11月23日～28日

SHさん、HHさん出展しましたが、コロナ禍のため、本人は見られませんでした。

(5) 活動場所としての文学館

今年度は文学館で活動しました。会員も講師も歩行困難により車での移動が便利なので駐車場が使えるのが良かった。

また、来館者が少ないので生涯学習センターより落ち着いて活動できるとHHさんの発言もありました。

しかし、生涯学習センターのように、たまたま知り合いや職員が顔を見せてくれるような付き合いはできていません。

生涯学習センターまつりはオンラインでの発表また、今年度は町田市社会福祉協議会のボランティア活動助成金を30,000円いただきました。創作活動するためには、ある程度の広さが必要で、部屋代が支出の大きい割合を占めてしまうのですが、安心して部屋を確保することができました。

4. 上を向く会 ～気流～

(1) 会の成り立ち

私たちの会には「風になる会」という前身があります。2020年、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「風になる会」はしばらくの間休会することになりました。

感染状況も落ち着き、今後の活動をどうするか、どうしたいかを、ご家族も出席して話し合いをしました。

- ・1ヶ月に一度の活動を大切にしたい
- ・歌が好きだから、歌いたい、上手になりたい。
- ・みんなと会いたい。

全員の活動がしたい！という気持ちを確認して、一人一人が気を付けて活動していくということで会を再開することになりました。

- ・自宅で検温を済ませる。
- ・体調が悪い時は、無理をせず休む。
- ・歌うときもマスクを外さない。
- ・飛沫防止シートを準備し、その前で歌う。
- ・使用したマイクは消毒してから、次の人が使う。

等々、感染対策もみんなで意見を出し合いながら決めました。

(2) 会の名前

風になる会のメンバー全員が揃う状況になるまでは、違う会として活動したほうがいいのか、という意見が出ました。こちらも全員が同意見であり、会の名前も新しく決めることにしました。

そしてみんなで考えた会の名前、「上を向く会

～気流～」どんな時も上を向いていこう、気流のように空高く高く舞い上がろう！そんな思いを込めて決めました。

生涯学習センターに団体登録もし、ホームグラウンドとして集うことにしました。

(3) 活動の様子

新しい先生を迎え、10月より再起動しました。先生はピアノを演奏しながら指導されます。先生のモットーは楽しく歌うこと、上手く歌うことも大事だけど、まずは歌を楽しもう！が口癖です。いつもの活動では、活動日の1週間前までに、一人3曲程歌いたい曲を決めて先生に伝えます。それぞれが活動日までに練習をし、当日は何も見なくても歌えるほど歌詞を暗記する人もいます。

活動日のはじめには、一日の流れや歌う順番を決めて、発声練習をした後、一人ずつ歌の発表です。自分の歌いたい曲を自分のペースで、何より楽しみながら先生の指導のもとノリノリで歌います。

(4) 会の運営

毎月第一土曜日が活動日です。一人2,000円の活動費を徴収しています。

家計簿ならぬ会簿を付けて、自分たちでお金の管理も始めました。

(5) 課題と今後の展望

若葉とそよ風のコンサート、とっておきの音楽祭など歌のイベントには積極的に参加していきたいと考えています。自分たちの思いをまとめたものや、会のオリジナル曲などを発信したら、会のことも多くの人により分かってもらえるのではないかと、という意見が出て、作成に向けて話し合いをしています。メンバー一人一人が自分たちの活動、自分たちの会という思いが増してきました。

ただ、既存のメンバーは定着してきましたが、新規の会員は増えていません。

新規メンバーを増やすために、町田市広報の活動紹介コーナーに掲載したり、みんなでチラシを作成して配布したり、メンバー募集の案を出し合い、その活動もしていきたいと考えています。

歌がメインの会なので活動も慎重になりますが、前述のチラシの作成の時間や、話し合いの時間など、色々な活動が出来るようにしていきたいです。

とびたつ会活動経過(2020年4月～2021年3月)

	月日	内容	参加人数	場所
1	4月12日	緊急事態宣言により公共施設が使えなくなったため中止		
2	4月26日	緊急事態宣言により公共施設が使えなくなったため中止		
3	5月10日	緊急事態宣言により公共施設が使えなくなったため中止		
4	5月24日	緊急事態宣言により公共施設が使えなくなったため中止		
5	6月14日	緊急事態宣言により公共施設が使えなくなったため中止		
6	6月28日	緊急事態宣言解除後はじめての活動 近況報告	10人	公民館
7	7月12日	近況報告 とびたつ会紹介ビデオ撮影	13人	公民館
8	7月26日	近況報告 やまゆり事件から4年 町田市障がい者計画 午後＝永野むつみさん学習会「表現すること」	14人	公民館
9	8月9日	近況報告 平和についての歌 仲間への残暑見舞いとビデオメッセージ	11人	公民館
10	8月23日	近況報告 ビデオ「シェアしてみたらわかったこと」 どん焼きづくり	10人	公民館
11	9月13日	近況報告 とびたつ会の歌を全部うたう わかそよについて	12人	公民館
12	9月27日	近況報告 午後＝わかそよ実行委員会の準備会22人参加	11人	公民館
13	10月11日	近況報告 生涯学習センターまつり用ビデオを撮影	13人	公民館
14	10月25日	近況報告 メンバーのグループホームでの困った話につ いて議論 午後＝わかそよ実行委員会	14人	公民館
15	11月8日	近況報告 今後の活動について 若そよについて	14人	公民館
16	11月22日	近況報告 今後の活動について うた 見学者2人	13人	公民館
17	12月13日	近況報告 今後の活動について アップルパイづくり	12人	公民館
18	12月27日	近況報告 午後＝望年会:樋口三四郎ライブ 振り返り	12人	公民館
19	1月10日	とびたつ会＝緊急事態宣言のため急きよ中止 集まった 人でけんちんうどんづくり	7人	公民館
20	1月24日	中止 やっぱり集まりたい人の会＝牛丼づくり	5人	公民館
21	2月14日	中止 やっぱり集まりたい人の会＝チョコパンづくり	9人	公民館
22	2月28日	中止 やっぱり集まりたい人の会＝午後性教協りモート学 習会	7人	公民館
23	3月14日	中止 やっぱり集まりたい人の会＝障がい者計画「わかり やすい版」検討 青年学級から3人参加	10人	公民館
24	3月28日	若葉とそよ風のハーモニー結団式	10人	公民館
		合計	207人	

あたりまえのうた

キミとボクのあたりまえと

永野むつみ
とびたつ会
2020年8月13日

G Em D C G

C Bm C D G D

G D Em Bm

あたりまえがうれ しい あたりまえがいと しい

C D7

あたりまえがなつ か しい あたりまえをあき らめない

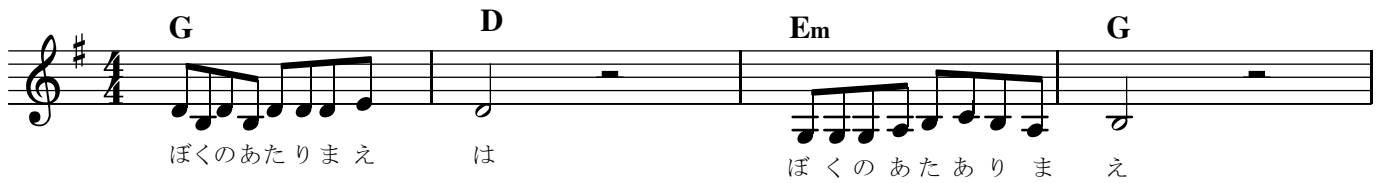
Am D G

あたりまえを あたりまえに す る

C D G

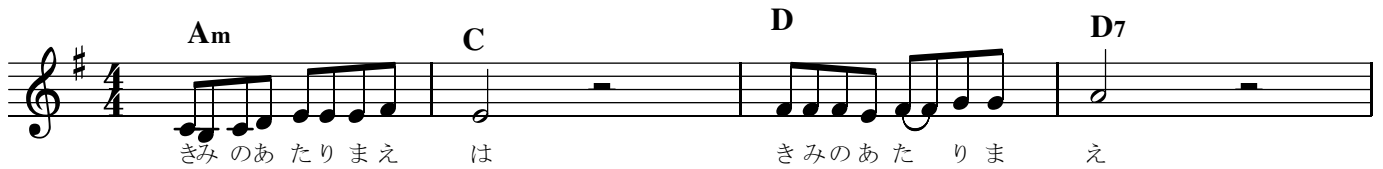
あたりまえは あたり まえ だ

G D Em G



ぼくのあたりまえ は ぼくのあたりまえ

Am C D D7



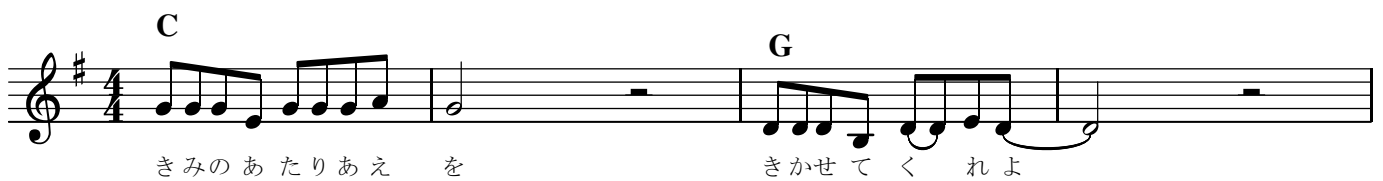
きみのあたりまえ は きみのあたりまえ

C G G Am D



みんなちがって みんないい だから

C G



きみのあたりあえ を きかせてくれよ

Em D



じぶんのことばでね ラーララララ ラー

C G



ぼくのあたりまえも きいておくれよ

Em D



ひらたいころでさ ルールルルル ル

Am C G D



かさなるところが みつかるかもしれない

